

2020年3月期第2四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2019年10月

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2020年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-7)
- アセット・マネジメント部門(P8-9)
- ホールセール部門(P10-12)
- 金融費用以外の費用(P13)
- 強固な財務基盤を維持(P14)
- 資金調達と流動性(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリュース・アット・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P21)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-27)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30)
- 人員数(P31)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2020年3月期上半期の決算ハイライト

- 税前利益: 2,033億円、当期純利益¹: 1,944億円、EPS²: 57.66円、ROE³: 14.6%
- 3セグメントの税前利益は前年同期比65%増
 - ホールセール部門の収益性が改善
 - 米金利低下局面におけるビジネス機会を的確に捉え、フィクスト・インカムが増収
 - ビジネス・ポートフォリオの見直しを受けて収益の安定性が向上、コスト水準は低下
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益の改善により、アセット・マネジメント部門も増益
- セグメント「その他」の税前損益も大幅に改善 ~前年同期に計上した一時費用⁴が剥落、野村総合研究所株式の売却益(733億円)も貢献
- 一株当たり配当金: 中間15円

	2020年3月期 上半期	2019年3月期 上半期	前年同期比		2020年3月期 上半期	2019年3月期 上半期	前年同期比	
収益(金融費用控除後)	7,154億円	5,549億円	29%	▶ 税前利益(損失): セグメント情報	営業部門	134億円	321億円	-58%
税前利益(損失)	2,033億円	141億円	14.4x		アセット・マネジメント部門	282億円	192億円	47%
当期純利益(損失) ¹	1,944億円	-60億円	-		ホールセール部門	389億円	-25億円	-
EPS ²	57.66円	-1.78円	-		3セグメント合計	805億円	488億円	65%
ROE ³	14.6%	-	-		その他	1,249億円	-357億円 ⁴	-
					営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-21億円	9億円	-
				税前利益(損失)合計	2,033億円	141億円	14.4x	

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失) 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
 4. 過去の取引事業にかかる米国司法省との和解費用(198億円)、中東・北アフリカ地域の子会社の清算手続きが進捗したことに伴う為替換算調整額の認識(-70億円)

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

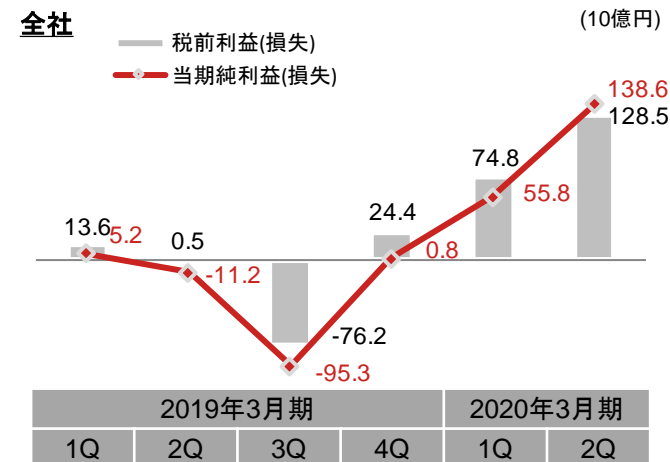
2020年3月期第2四半期の決算ハイライト

- **収益:3,834億円(前四半期比15%増)、税前利益:1,285億円(前四半期比72%増)**
 - セグメント「その他」の収益が大幅に増加 ~野村総合研究所の一部株式売却益(733億円)が貢献
 - ビジネス・ポートフォリオの見直しが奏功し、海外ビジネスは2四半期連続で税前黒字を確保

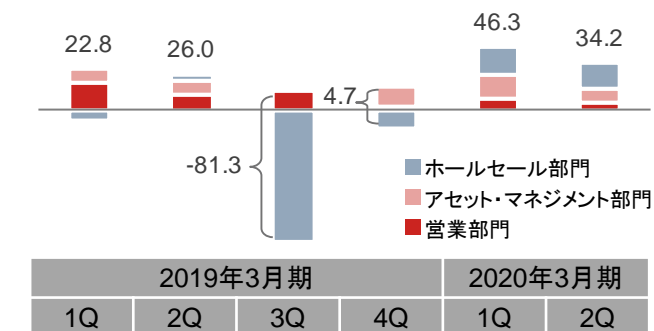
- **3セグメントの税前利益は342億円(前四半期比26%減)**
 - 営業部門**
 - お客様の投資マインドの低下や、営業体制見直しによる当社固有の要因もあり、総募集買付が低下
 - アセット・マネジメント部門**
 - ビジネスは堅調 ~13四半期連続で資金流入が継続、運用資産残高は過去2番目の高水準
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益の減少により、前四半期比で減益
 - ホールセール部門**
 - 季節要因がある中で収益は堅調に推移 ~フィクスト・インカムは好調だった前四半期からは減収、エクイティは日本・米州の貢献により増収
 - インベストメント・バンキングはグローバルに収益機会が低下するなか、DCMビジネスが健闘

- **当期純利益¹:1,386億円(同148%増)、EPS²:41.23円、ROE³:20.6%**
 - 野村総合研究所の一部株式売却に伴い、みなし配当制度の適用および過年度に計上していた繰延税金負債の取崩等により税金費用が約270億円減少

税前利益(損失)、当期純利益(損失)¹の推移



3セグメント税前利益(損失)



1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期決算の概要

決算ハイライト

	2020年3月期 第2四半期	前四半期比	前年 同期比	2020年3月期 上半期	前年 同期比
収益合計 (金融費用控除後)	3,834億円	15%	36%	7,154億円	29%
金融費用以外の費用	2,549億円	-1%	-10%	5,121億円	-5%
税前利益	1,285億円	72%	275.1x	2,033億円	14.4x
当期純利益 ¹	1,386億円	148%	-	1,944億円	-
EPS ²	41.23円	150%	-	57.66円	-
ROE ³	20.6%			14.6%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

		2020年3月期 第2四半期	前四半期比	前年 同期比	2020年3月期 上半期	前年 同期比
収益	営業部門	769億円	-5%	-10%	1,575億円	-12%
	アセット・マネジメント部門	257億円	-26%	4%	602億円	19%
	ホールセール部門	1,567億円	-2%	6%	3,162億円	11%
	3セグメント合計	2,593億円	-6%	0.5%	5,339億円	4%
	その他(※)	1,233億円	105%	4.7x	1,836億円	4.6x
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	8億円	-	-	-21億円	-
収益合計(金融費用控除後)		3,834億円	15%	36%	7,154億円	29%
税前利益 (損失)	営業部門	53億円	-35%	-57%	134億円	-58%
	アセット・マネジメント部門	100億円	-45%	13%	282億円	47%
	ホールセール部門	189億円	-5%	3.8x	389億円	-
	3セグメント合計	342億円	-26%	31%	805億円	65%
	その他(※)	934億円	197%	-	1,249億円	-
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	8億円	-	-	-21億円	-
税前利益 合計		1,285億円	72%	275.1x	2,033億円	14.4x

(※) 第2四半期の「その他」に関する補足

- 野村総合研究所の一部株式売却益(733億円)
- 経済的ヘッジ取引に関連する損益(70億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(8億円)

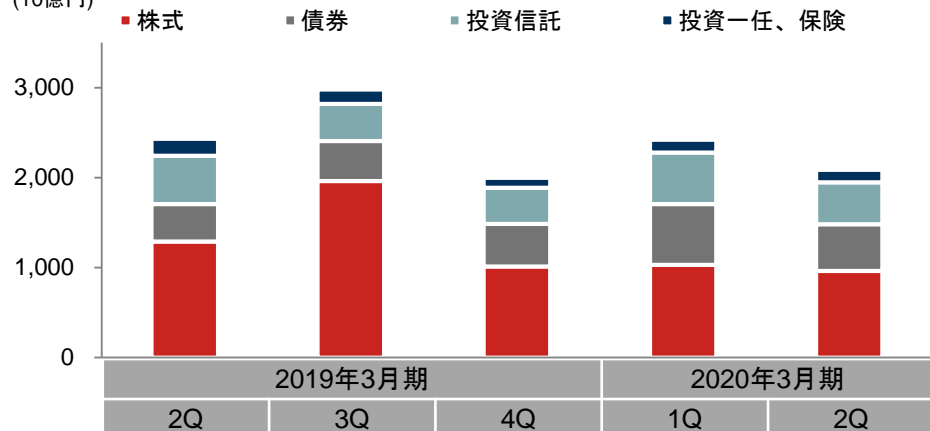
収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2019年3月期			2020年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	85.7	86.8	74.2	80.6	76.9	-5%	-10%
金融費用以外の費用	73.5	72.7	70.9	72.5	71.6	-1%	-3%
税前利益	12.2	14.0	3.3	8.1	5.3	-35%	-57%

総募集買付額³

(10億円)



1. ジュニアNISAを含む
3. リテールチャネルのみ対象

2. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引
4. リテールチャネル、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

決算のポイント

- 収益: 769億円 (前四半期比5%減、前年同期比10%減)
- 税前利益: 53億円 (前四半期比35%減、前年同期比57%減)
- 前四半期比で減収減益
 - 米中貿易摩擦等を背景としたお客様の投資マインドの低下や、営業体制の見直しに伴う当社固有の要因もあり、総募集買付額が減少
 - 費用は低下～店舗統合に伴う一時費用や業績に応じた賞与引当が減少
- 顧客基盤

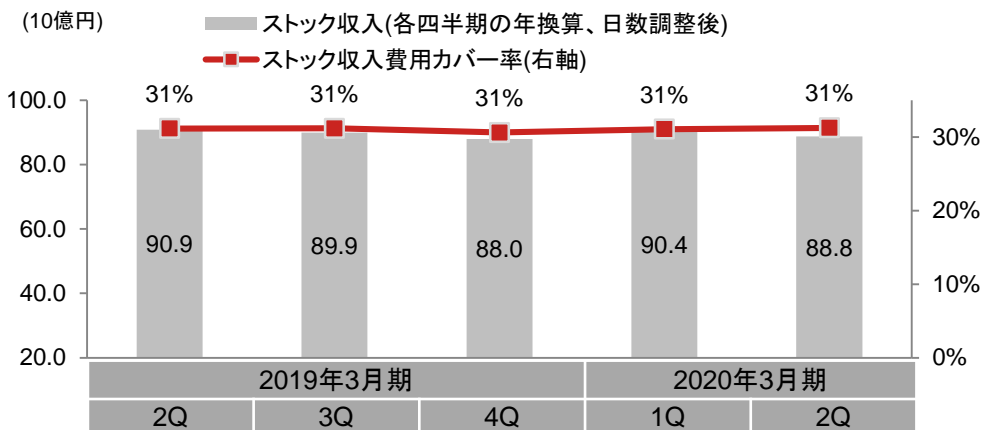
	9月末 / 2Q	6月末 / 1Q
- 顧客資産残高	114.8兆円	113.1兆円
- 残あり顧客口座数	533万口座	533万口座
- NISA開設口座数(累計) ¹	172万口座	171万口座
- 現金本券差引 ²	-56億円	-1,206億円

総募集買付額³は前四半期比14%減

- 株式: 前四半期比7%減
 - セカンダリー株式買付が減少 ~外国株式は横ばいも、日本株が低調
 - プライマリー株式募集額⁴(608億円、前四半期比16%増)は増加
- 投資信託: 前四半期比19%減
 - プライマリー投信の販売があった前四半期比では減少も、グローバル株式投信を中心に資金が流入
- 債券販売額は5,205億円、前四半期比23%減
 - 個人向け国債やプライマリー案件を中心に、国内債が減少
 - 米国金利低下を受けて、米ドル建てのセカンダリー外債販売も減速

営業部門:SMA残高は着実に増加

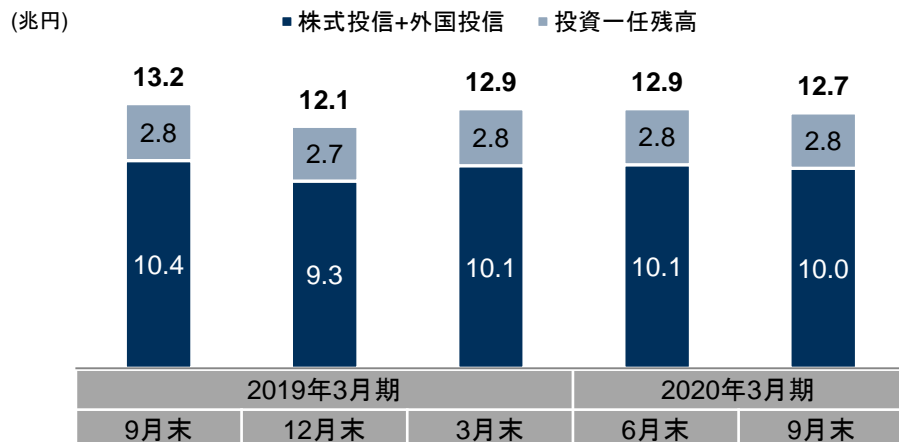
ストック収入



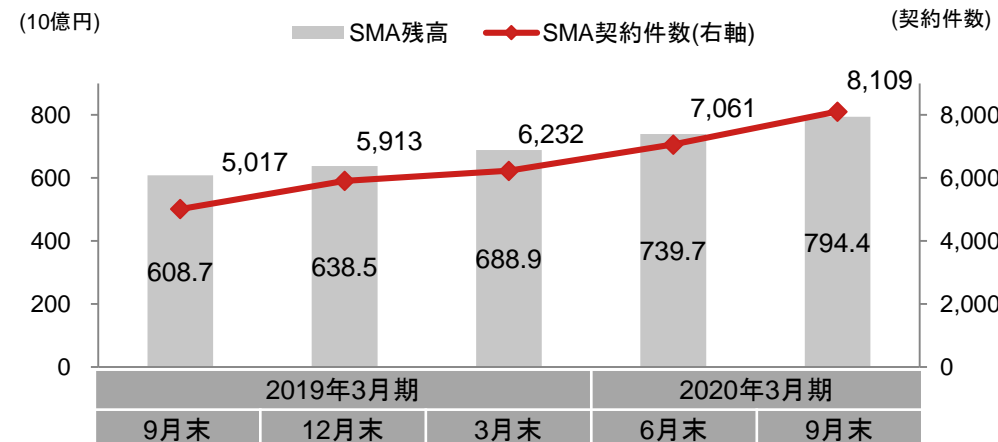
- 年換算したストック収入は888億円
- 投信やファンドラップの解約超により、フィーベース資産残高が減少
- 一方で、相続ニーズを捉えたラップ信託を中心に、SMA³残高は拡大基調

	9月末 / 2Q	6月末 / 1Q
■ ストック収入	224億円	225億円
- 投信純増 ¹	-325億円	-297億円
- 投資一任純増 ¹	-587億円	-405億円
■ 保険販売額 ²	556億円	547億円
■ 入金預り ²	8,201億円	1兆549億円

投信、投資一任残高



SMA³残高、契約件数



1. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
 2. リテールチャネルのみ対象

3. 投資一任サービスの一つで、セパレートリー・マネージド・アカウントの略

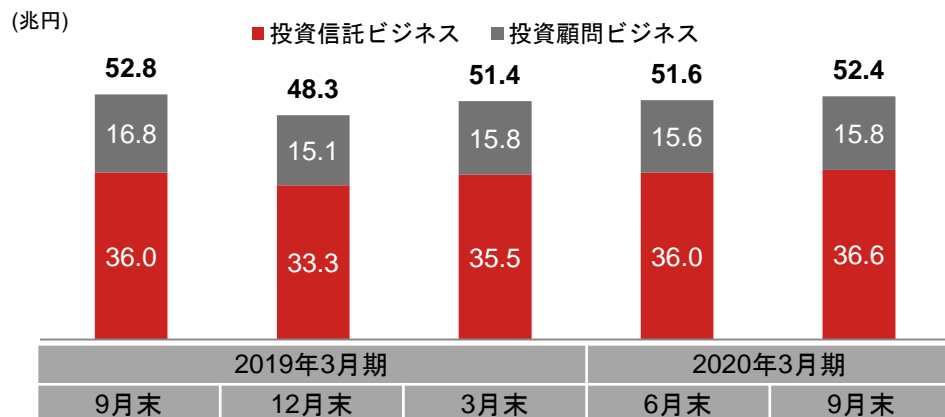
アセット・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)

	2019年3月期			2020年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益(除:ACI関連損益)	26.1	24.5	26.0	25.8	25.0	-3%	-4%
ACI関連損益	-1.5	-8.3	4.9	8.7	0.7	-92%	-
収益合計(金融費用控除後)	24.7	16.2	30.9	34.5	25.7	-26%	4%
金融費用以外の費用	15.8	15.6	16.5	16.4	15.6	-4%	-1%
税前利益	8.9	0.6	14.4	18.1	10.0	-45%	13%

運用資産残高(ネット)²



決算のポイント

- 収益: 257億円 (前四半期比26%減、前年同期比4%増)
- 税前利益: 100億円 (前四半期比45%減、前年同期比13%増)
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(ACI)関連損益が減少したことにより前四半期比で減収となったものの、運用報酬は引き続き堅調
 - 13四半期連続で資金流入が継続、運用資産残高は過去2番目の水準

投資信託ビジネス

- ETFに資金流入が継続し、残高は過去最高(9月末:17.8兆円、シェア³:45%)
- 銀行窓販や確定拠出年金向けファンドで資金流入が継続
- 一方で、投資一任口座向けの外国債券ファンドなどから資金が流出

投資顧問及び海外ビジネス

- 国内では、公的年金から日本株プロダクトの新規マンドートを獲得し資金が流入した一方、私的年金は資金流出
- 海外は、欧州で大口の新規マンドートを獲得、アジアでは一部公的機関から資金が流出

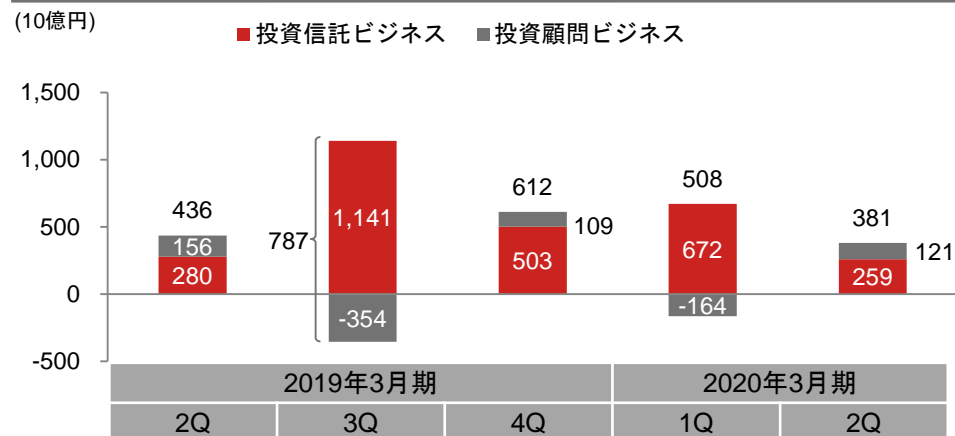
1. この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金が含まれる

2. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産を控除

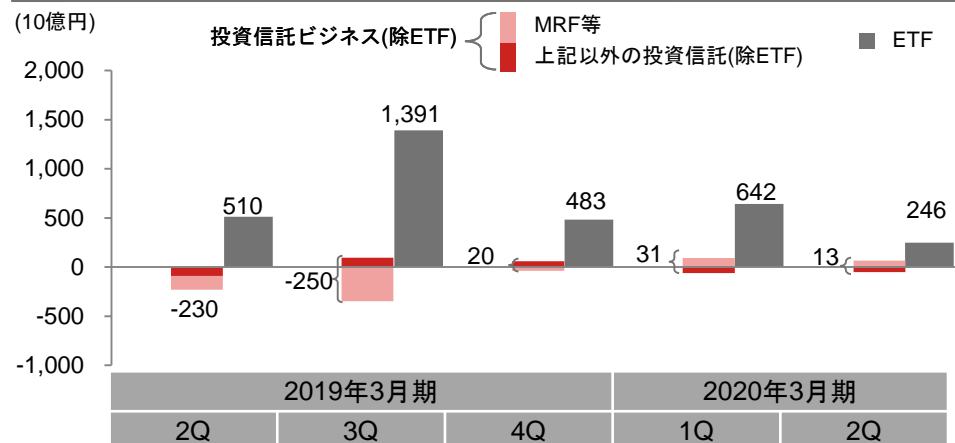
3. 出所: 投資信託協会

アセット・マネジメント部門: ACIとの連携により運用資産残高拡大が継続

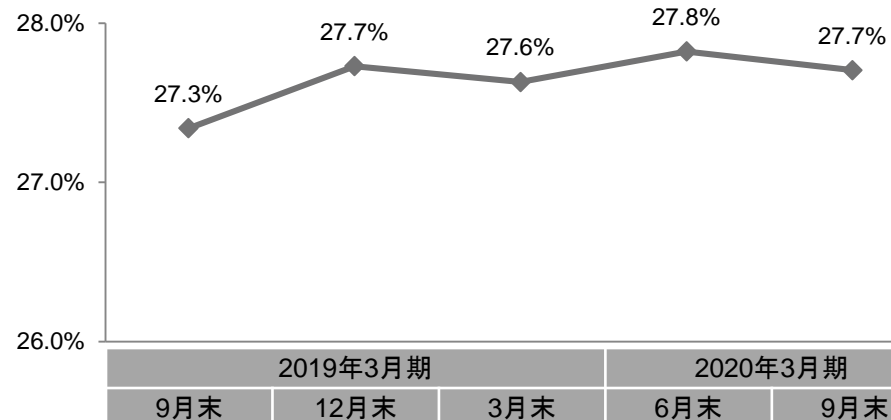
資金流出入¹



投資信託ビジネスの資金流出入内訳¹

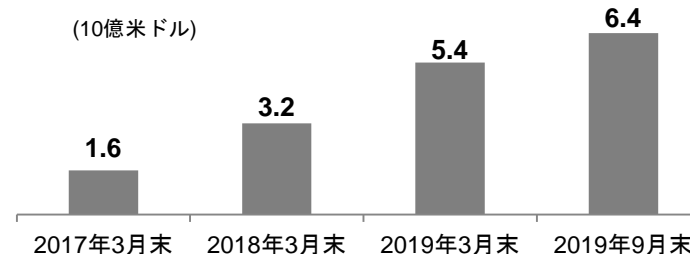


野村アセットマネジメントの公募投信シェア²



ACIとの協業による運用資産残高の拡大

- ACIとの協業による運用資産残高は、64億米ドルに増加
- 野村のUCITS³プラットフォームにACIのファンドを統合し、更に戦略的協業を強化
- 両社のプロダクトを双方向に供給することで、多様化する投資家のニーズに対応



1. 運用資産残高(ネット)に基づく
 2. 出所: 投資信託協会
 3. UCITS: 欧州委員会が制定した指令(Undertakings for Collective Investment in Transferable Securities)に準拠するファンド

ホールセール部門

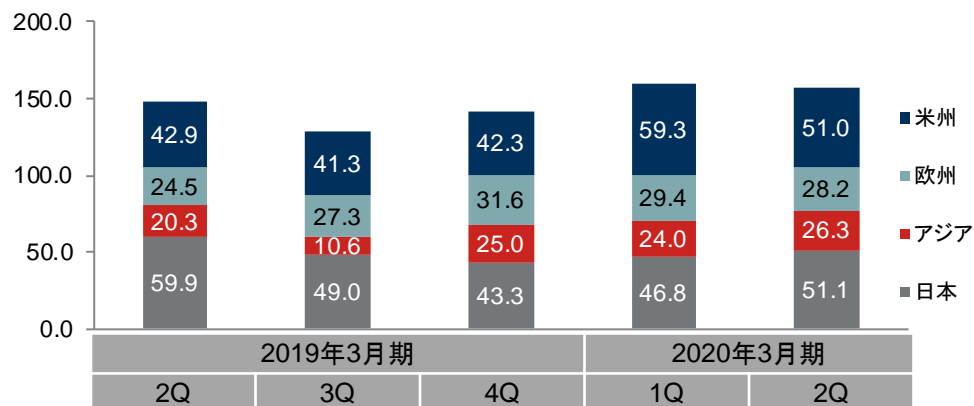
収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)¹

(10億円)

	2019年3月期			2020年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
グローバル・マーケット	123.8	103.5	113.6	135.7	132.8	-2%	7%
インベストメント・バンキング	23.9	24.7	28.6	23.7	23.9	1%	0.1%
収益合計(金融費用控除後)	147.7	128.2	142.2	159.5	156.7	-2%	6%
金融費用以外の費用	142.7	224.1	155.3	139.5	137.8	-1%	-3%
税前利益(損失)	4.9	-95.9	-13.0	20.0	18.9	-5%	3.8x

地域別収益

(10億円)



決算のポイント

- 収益: 1,567億円 (前四半期比2%減、前年同期比6%増)
- 税前利益: 189億円 (前四半期比5%減、前年同期比3.8倍)

■ 前四半期に続き、収益は堅調

- フィクスト・インカムは好調だった前四半期からは減収、エクイティは日本・米州の貢献により増収
- インベストメント・バンキングはグローバルに収益機会が低下するなか、DCMビジネスが健闘

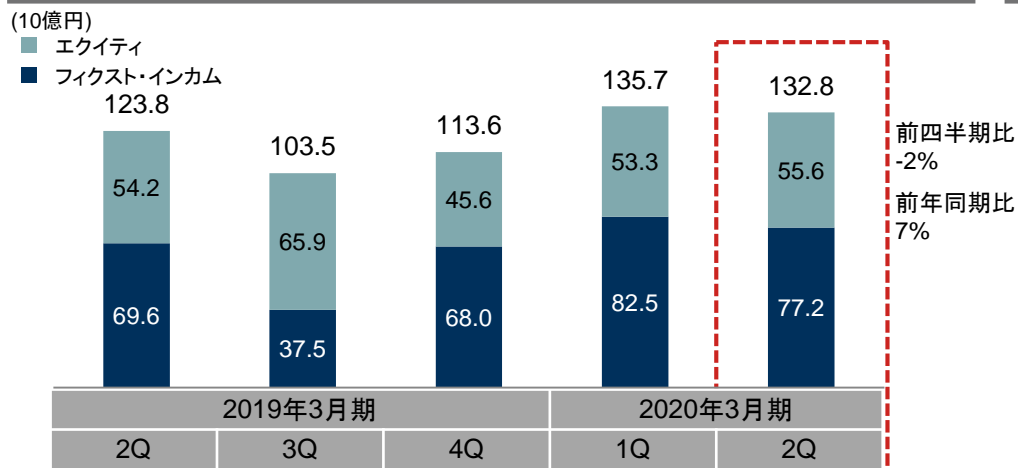
地域別収益(前四半期比、前年同期比)

- 日本: 511億円(9%増、15%減)
 - 前四半期のモメンタムが継続 ~グローバル・マーケット、インベストメント・バンキングともに前四半期比で増収
- 米州: 510億円(14%減、19%増)
 - 好調だった前四半期比で減収となるも、フィクスト・インカムは金利プロダクトが引き続き堅調、エクイティはデリバティブやキャッシュが増収
- 欧州: 282億円(4%減、15%増)
 - フィクスト・インカムが前四半期比で減収となるも、欧州国債を中心に金利プロダクトは堅調
- アジア: 263億円(10%増、30%増)
 - 6四半期ぶりの高収益 ~為替/エマージング中心にフィクスト・インカムが好調

1. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す

ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

- 収益: 1,328億円 (前四半期比2%減、前年同期比7%増)
- 好調だった前四半期比でフィクスト・インカムが減収、エクイティは増収

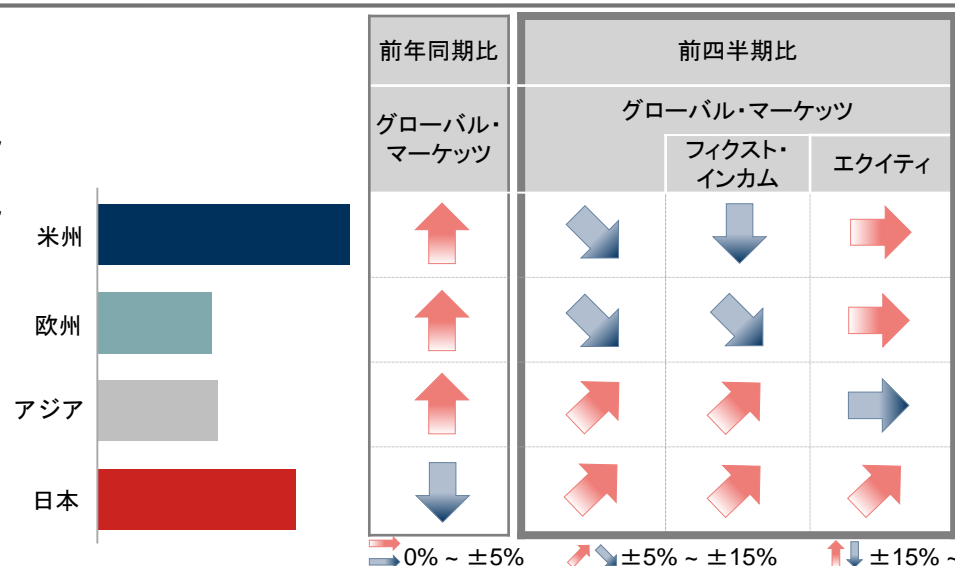
フィクスト・インカム

- 収益: 772億円 (前四半期比6%減、前年同期比11%増)
- 金利プロダクトは前四半期比で減収も、引き続き、フィクスト・インカム収益を牽引。～米金利低下局面におけるビジネス機会を的確に捉え、エージェンシー・モーゲージ等が堅調、欧州国債ビジネスは増収
- アジアを中心に為替/エマージングが増収

エクイティ

- 収益: 556億円 (前四半期比4%増、前年同期比3%増)
- 方向感が見えにくい市場環境の中、ボラティリティ上昇に伴う顧客アクティビティの増加でデリバティブが増収、米州キャッシュも回復

2020年3月期第2四半期 地域別収益

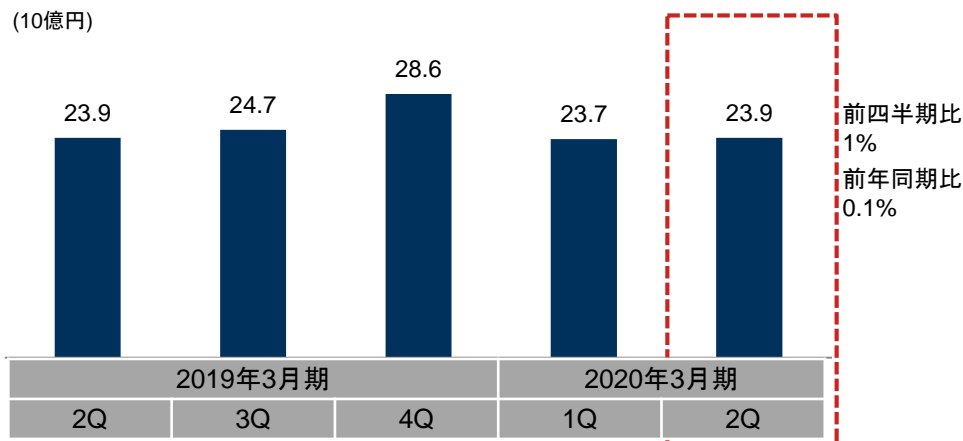


- 米州: フィクスト・インカムは前四半期比で減収となるも、金利ビジネスが収益を牽引、エクイティはキャッシュが回復したほか、デリバティブが増収
- 欧州: フィクスト・インカムは前四半期比で減収となるも、欧州国債を中心に金利ビジネスは堅調
- アジア: フィクスト・インカムは為替/エマージングが大幅増収、クレジットは堅調
- 日本: フィクスト・インカムはクレジットが堅調、金利ビジネスや為替/エマージングは回復、エクイティはデリバティブが増収

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

☐ クロスボーダー案件

収益合計(金融費用控除後)¹



決算のポイント

- 収益 239億円(前四半期比1%増、前年同期比0.1%増)
 - グローバルに収益機会が減少した中、顧客ニーズに即した商品・サービスを提供、前四半期並みの収益を確保

日本:

- DCMが堅調 ~低金利環境下における発行体の起債ニーズを的確に捉え、多くのDCM案件を獲得
- M&A案件に付随するソリューション・ビジネスも収益に貢献
- 日本ECM、DCM、日本関連M&Aのリーグテーブルで1位を獲得¹

海外:

- 欧米の買収/レバレッジド・ファイナンスが前四半期比で減速
- ソリューション・ビジネスは増収、欧米のM&Aも堅調

高プロファイル案件、クロスボーダーM&A案件を獲得

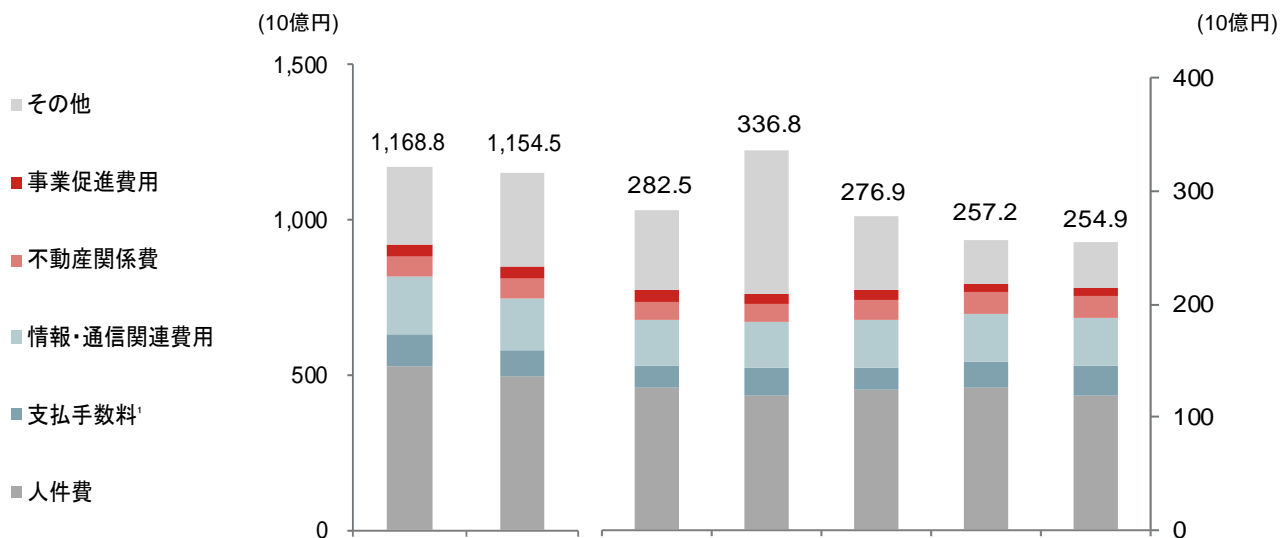
M&A	ファイナシング (ECM/DCM/ALF)
TDR Capital(英) (Stonegate) による Ei Group(英)の買収 (M&A: £3.3bn/ALF: £2.7bn)	リクルートホールディングス グローバルPO (3,741億円)
Worldline(仏)による equensWorldline(蘭)の少数株式の取得 (M&A: €1.1bn)	新生銀行 グローバルPO (633億円)
トヨタ自動車による①SUBARU及び②スズキの株式取得 (①M&A: 700億円/②M&A: 961億円)	ソフトバンクグループ リテール債及びホールセール債 (4,000億円/1,000億円)
Tikehau Capital(仏)とT&D Holdingsの事業及び資本の提携 (非公開)	大和ハウス工業 劣後債 (1,500億円)
	KfW(独) グローバル・ドル建て債 (\$3.0bn)
	フィリピン共和国 サムライ債 (920億円)
	Goldman Sachs(米)の MyEyeDr.(米)の買収に付随するファイナンス (\$1.5bn)
	GVC Holdings(英) リファイナンス (€1.0bn)

1. 出所: リフィニティブ、期間: 2019年4月~9月、DCMは普通社債

金融費用以外の費用

通期

四半期



決算のポイント

- 金融費用以外の費用: 2,549億円 (前四半期比1%減)
- 人件費(前四半期比4%減)
✓ コスト削減効果の顕在化などで減少
- 支払手数料(前四半期比4%増)
✓ 取引量に伴う支払手数料の増加
- 不動産関係費(前四半期比4%減)
✓ 国内店舗の統合に伴う一時費用が減少 (1Q 26億円、2Q 17億円)

	2018年3月期		2019年3月期			2020年3月期		前四半期比
	2018年3月期	2019年3月期	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
人件費	530.6	497.1	125.8	118.9	124.6	125.1	120.4	-3.7%
支払手数料 ¹	99.9	82.6	19.6	23.8	18.3	24.6	25.4	3.6%
情報・通信関連費用	184.8	166.9	40.5	41.8	43.6	41.8	42.4	1.4%
不動産関係費	67.9	64.9	16.5	15.9	16.2	19.1	18.4	-4.0%
事業促進費用	36.8	36.9	9.3	9.1	9.6	7.8	7.9	1.0%
その他	248.9	306.0	70.8	127.3	64.5	38.8	40.4	4.0%
合計	1,168.8	1,154.5	282.5	336.8	276.9	257.2	254.9	-0.9%

1. 2018年4月より、会計基準アップデート第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用したことに伴い、一定の取引執行にかかる収益と関連費用を総額表示から純額表示に変更

強固な財務基盤を維持

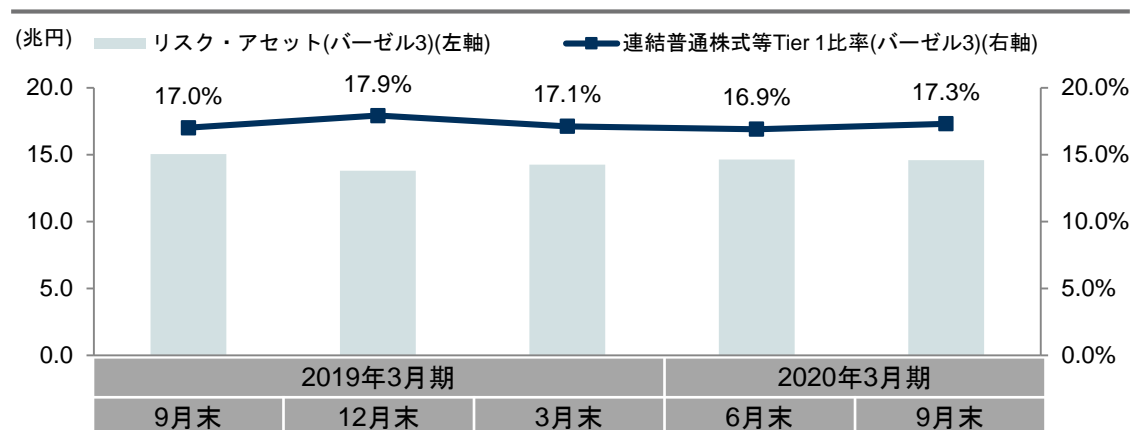
バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

	2019年 3月末	2019年 6月末	2019年 9月末
■ 資産合計	41.0兆円	42.5兆円	45.7兆円
■ 当社株主資本	2.6兆円	2.7兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	15.6倍	16.0倍	16.9倍
調整後レバレッジ ¹	9.0倍	10.0倍	10.1倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.6兆円	0.6兆円	0.6兆円
■ 流動性ポートフォリオ	4.9兆円	4.8兆円	4.5兆円

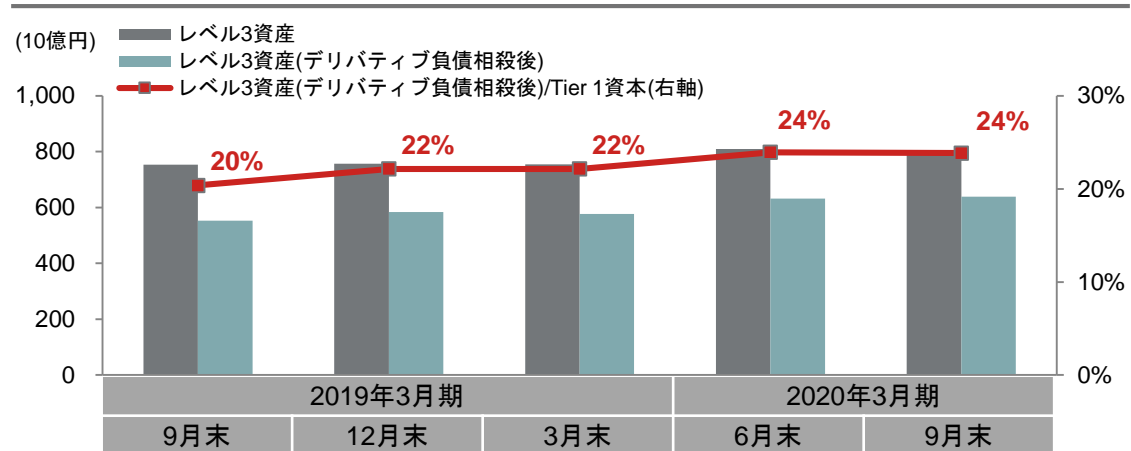
(10億円)	2019年 3月末	2019年 6月末	2019年 9月末 ²
バーゼル3ベース			
Tier 1資本	2,606	2,644	2,689
Tier 2資本	46	46	46
総自己資本の額	2,652	2,690	2,735
リスク・アセット	14,252	14,626	14,575
連結Tier 1比率	18.2%	18.0%	18.4%
連結普通株式等Tier 1比率 ³	17.1%	16.9%	17.3%
連結総自己資本規制比率	18.6%	18.3%	18.7%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.03%	5.06%	4.92%
適格流動資産(HQLA) ⁵	4.3兆円	4.2兆円	4.0兆円
連結流動性カバレッジ比率 (LCR) ⁵	198.4%	188.4%	194.4%

1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 2. 2019年9月末は暫定数値
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したもの
 5. 四半期の日次平均の値

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



レベル3資産²の推移、Tier 1資本に対する比率



資金調達と流動性

貸借対照表
(2019年9月末現在)

バランスシート構造

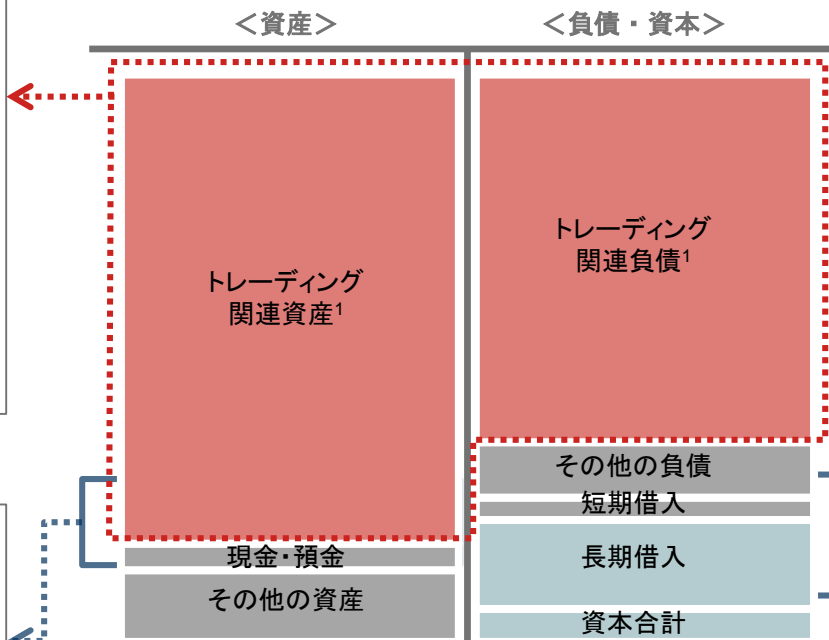
- 流動性の高い、健全なバランスシート構造

- 資産の78%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
- その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

流動性ポートフォリオ²

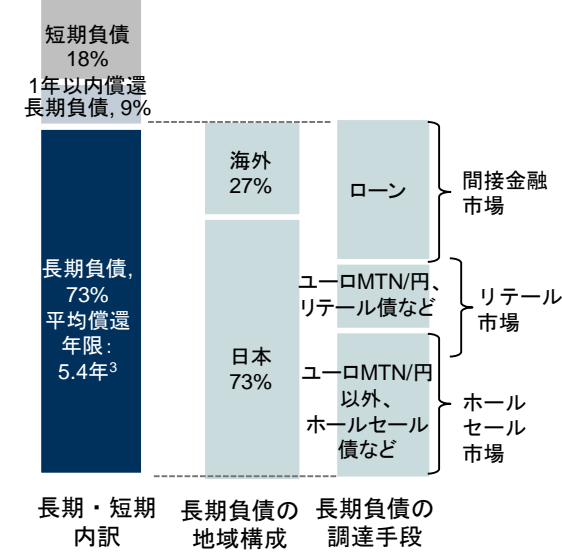
- 流動性ポートフォリオ:

- 4.5兆円、総資産の10%
- 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の7割強が長期負債
- 調達先は分散



1. トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等 トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 2. 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 3. 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)	2019年 3月末	2019年 9月末	前期比 増減		2019年 3月末	2019年 9月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	3,262	3,380	118	短期借入	842	950	108
貸付金および受取債権	3,882	4,155	273	支払債務および受入預金	3,768	3,757	-11
担保付契約	17,307	18,238	931	担保付調達	16,684	20,483	3,799
トレーディング資産 ¹ および プライベート・エクイティ投資	14,386	17,608	3,222	トレーディング負債	8,220	8,768	548
その他の資産	2,133	2,296	163	その他の負債	859	1,016	157
				長期借入	7,916	7,915	-1
資産合計	40,969	45,677	4,708	負債合計	38,289	42,889	4,600
				資本			
				当社株主資本合計	2,631	2,708	77
				非支配持分	50	80	31
				負債および資本合計	40,969	45,677	4,708

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

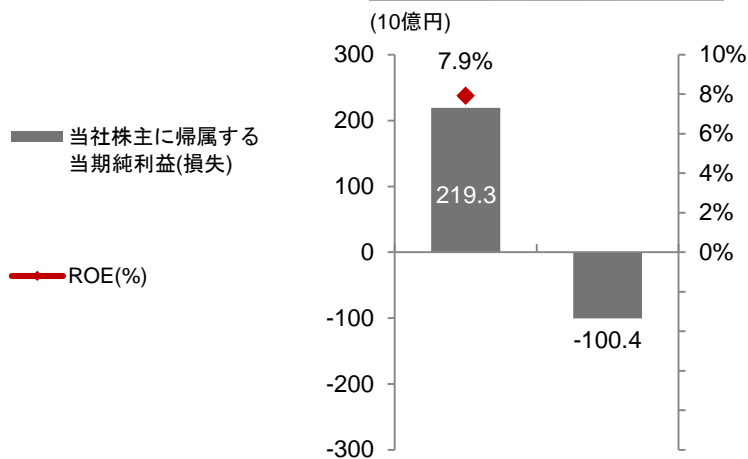
■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2019.4.1~2019.9.30
- 最大 : 6.9
- 最小 : 3.6
- 平均 : 5.0

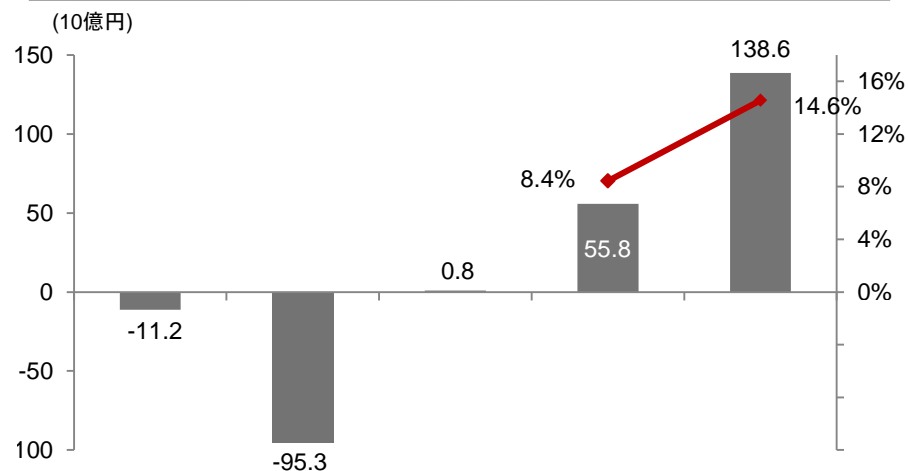
(10億円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
株式関連	1.2	1.1	2.1	1.1	1.1	1.2	1.8
金利関連	3.1	2.8	2.9	3.5	2.8	3.1	4.0
為替関連	3.2	1.9	2.2	1.7	1.9	3.2	3.2
小計	7.5	5.8	7.2	6.3	5.8	7.5	8.9
分散効果	-1.1	-1.3	-2.7	-1.4	-1.3	-1.5	-4.3
連結VaR	6.4	4.5	4.5	4.9	4.5	6.0	4.6

連結決算概要

通期



四半期



	2018年 3月期	2019年 3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,497.0	1,116.8
税引前当期純利益(損失)	328.2	-37.7
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	219.3	-100.4
当社株主資本合計	2,749.3	2,631.1
ROE(%) ¹	7.9%	-
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	63.13	-29.90
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	61.88	-29.92
1株当たり株主資本(円)	810.31	794.69

	2019年3月期			2020年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計	282.9	260.6	301.3	332.0	383.4
税引前当期純利益	0.5	-76.2	24.4	74.8	128.5
当社株主に帰属する 当期純利益	-11.2	-95.3	0.8	55.8	138.6
当社株主資本合計	2,800.8	2,662.9	2,631.1	2,662.7	2,707.9
ROE(%)	-	-	-	8.4%	14.6%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益	-3.31	-28.52	0.25	16.83	42.11
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益	-3.32	-28.52	0.23	16.48	41.23
1株当たり株主資本	828.02	805.07	794.69	800.87	837.87

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益							
委託・投信募集手数料 ¹	373.3	293.1	74.8	72.7	66.1	68.2	65.3
投資銀行業務手数料	101.7	101.5	19.1	33.1	25.3	27.3	22.3
アセットマネジメント業務手数料	245.6	245.5	62.7	60.6	59.2	60.0	59.9
トレーディング損益	442.9	343.0	75.8	96.9	98.4	112.8	105.6
プライベート・エクイティ投資関連損益	-0.9	1.0	0.3	0.5	-0.3	0.8	1.0
金融収益	585.7	777.0	188.7	214.5	204.1	199.5	215.9
投資持分証券関連損益	2.7	-7.0	-1.1	-9.9	1.9	-2.8	2.1
その他	221.2	81.1	28.1	-11.1	43.7	45.7	101.9
収益合計	1,972.2	1,835.1	448.4	457.4	498.4	511.4	573.9
金融費用	475.2	718.3	165.5	196.8	197.1	179.4	190.5
収益合計(金融費用控除後)	1,497.0	1,116.8	282.9	260.6	301.3	332.0	383.4
金融費用以外の費用 ¹	1,168.8	1,154.5	282.5	336.8	276.9	257.2	254.9
税引前当期純利益(損失)	328.2	-37.7	0.5	-76.2	24.4	74.8	128.5
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	219.3	-100.4	-11.2	-95.3	0.8	55.8	138.6

1. 2018年4月より、会計基準アップデート第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用したことに伴い、一定の取引執行にかかる収益と関連費用を総額表示から純額表示に変更

連結決算：主な収益の内訳

	通期		四半期					
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
(10億円)								
委託・投信 募集手数料	委託手数料-株式 ¹	243.8	192.0	47.4	50.5	43.9	42.6	42.5
	委託手数料-株式以外	17.0	14.4	3.4	4.3	2.5	2.7	2.8
	投信募集手数料	85.7	56.6	15.6	11.5	11.7	16.4	12.6
	その他手数料	26.9	30.0	8.4	6.4	8.0	6.4	7.4
	合計	373.3	293.1	74.8	72.7	66.1	68.2	65.3
投資銀行 業務手数料	株式	23.2	30.0	5.9	14.7	3.6	3.1	4.9
	債券	16.3	22.7	4.6	6.6	5.3	6.8	6.6
	M&A・財務コンサルティングフィー	39.3	33.2	5.6	7.3	13.0	10.6	7.1
	その他	22.9	15.5	3.0	4.5	3.4	6.9	3.8
	合計	101.7	101.5	19.1	33.1	25.3	27.3	22.3
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	170.4	168.7	43.4	41.5	40.2	40.3	40.0
	アセット残高報酬	57.9	61.0	15.3	15.2	15.2	15.7	16.0
	カストディアルフィー	17.3	15.8	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0
	合計	245.6	245.5	62.7	60.6	59.2	60.0	59.9

1. 2018年4月より、会計基準アップデート第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用したことに伴い、一定の取引執行にかかる収益と関連費用を総額表示から純額表示に変更

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業部門	103.1	49.5	12.2	14.0	3.3	8.1	5.3
アセット・マネジメント部門 ¹	66.2	34.2	8.9	0.6	14.4	18.1	10.0
ホールセール部門	100.6	-111.4	4.9	-95.9	-13.0	20.0	18.9
3セグメント合計税前利益	269.9	-27.7	26.0	-81.3	4.7	46.3	34.2
その他 ¹	56.4	-2.8	-24.5	15.1	17.8	31.5	93.4
セグメント合計税前利益	326.3	-30.5	1.6	-66.2	22.5	77.7	127.7
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	1.9	-7.2	-1.1	-10.0	1.8	-2.9	0.8
税前利益(損失)	328.2	-37.7	0.5	-76.2	24.4	74.8	128.5

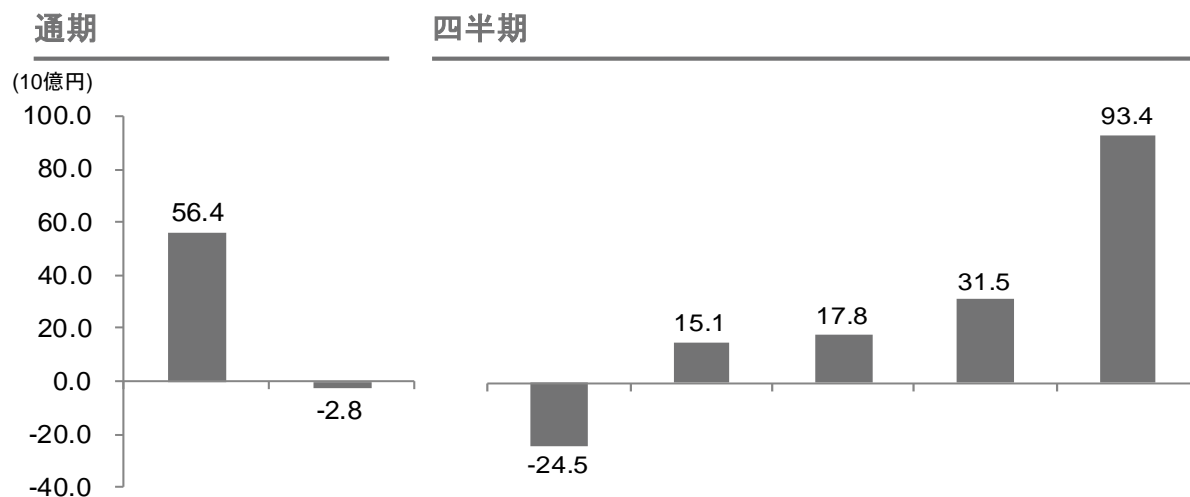
地域別情報:税前利益(損失)²

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米州	-8.8	-114.1	-21.6	-87.1	-3.7	14.3	1.1
欧州	-14.7	-56.9	-11.6	-14.5	-25.5	4.5	-1.5
アジア・オセアニア	22.8	5.0	1.0	-3.9	8.7	11.6	10.5
海外合計	-0.7	-165.9	-32.2	-105.5	-20.5	30.4	10.2
日本	328.8	128.2	32.6	29.4	44.9	44.4	118.3
税前利益(損失)	328.2	-37.7	0.5	-76.2	24.4	74.8	128.5

1. 2019年3月期1Qより、従来アセット・マネジメント部門に含めていた野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーをセグメント「その他」に移行 2. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第2四半期の数値は速報値)。
米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-6.5	1.8	-16.0	25.1	6.6	12.8	7.0
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	0.8	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	1.3
関連会社損益の持分額	34.2	32.5	8.5	1.4	15.9	8.3	8.0
本社勘定	-41.9	-36.0	-23.7	0.6	-10.4	1.4	-4.6
その他	69.7	-1.3	6.7	-12.2	5.7	8.9	81.8
税前利益(損失)	56.4	-2.8	-24.5	15.1	17.8	31.5	93.4

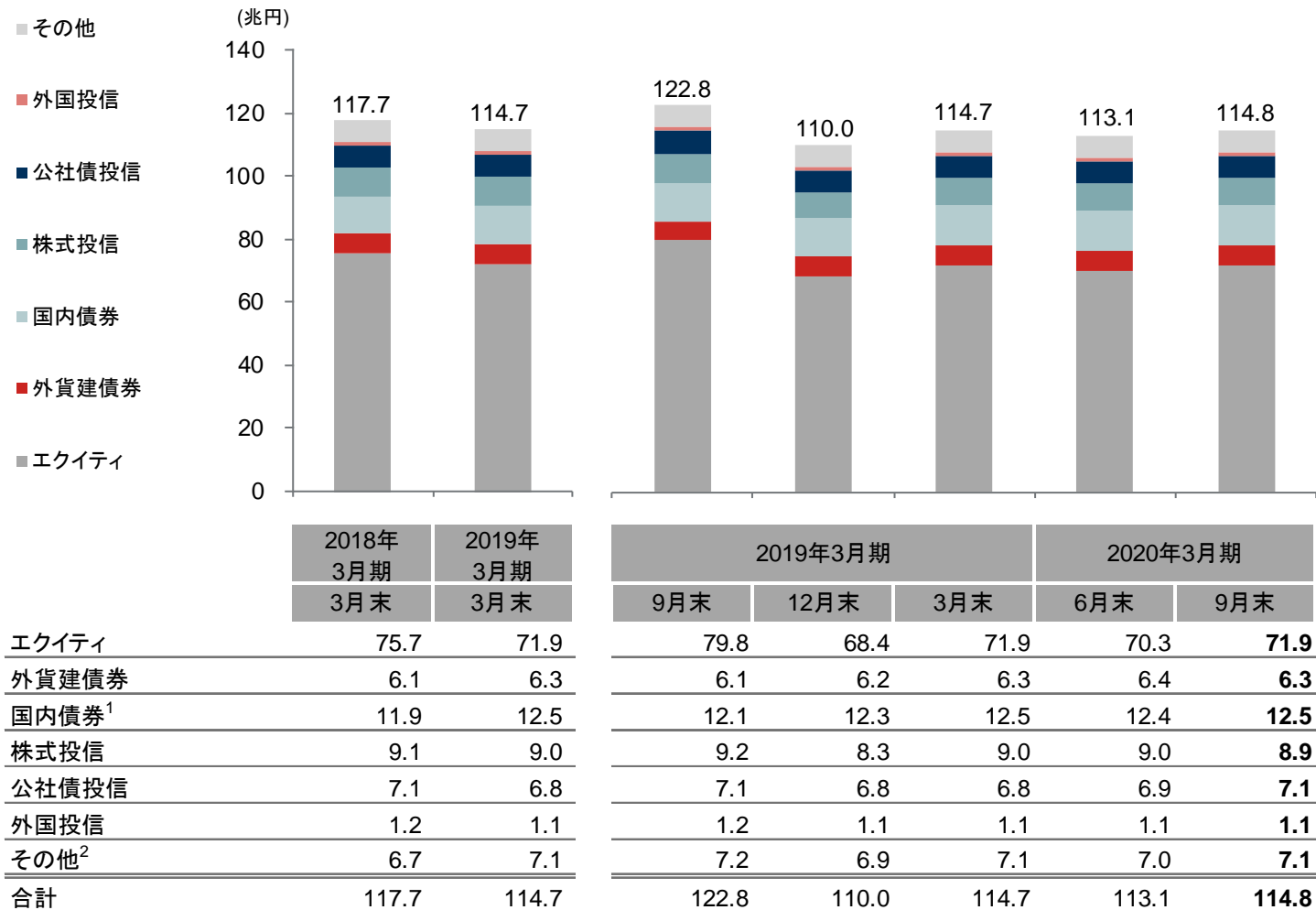
営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
委託・投信募集手数料	192.7	142.8	36.8	34.1	31.0	34.5	31.2	-9.6%	-15.4%	
うち株式委託手数料	82.2	60.2	15.3	15.8	12.2	12.5	12.6	1.0%	-17.5%	
うち投資信託募集手数料	87.1	57.9	15.6	11.7	12.1	16.5	12.6	-23.6%	-19.3%	
販売報酬	91.5	55.8	15.5	10.9	10.5	14.9	12.7	-15.0%	-18.1%	
投資銀行業務手数料等	26.0	34.0	7.0	14.3	6.7	5.6	6.0	7.1%	-14.3%	
投資信託残高報酬等	93.6	95.4	24.0	23.6	23.4	23.4	23.4	-0.2%	-2.6%	
純金融収益等	9.2	11.5	2.4	3.8	2.6	2.3	3.7	61.9%	52.8%	
収益合計(金融費用控除後)	412.9	339.5	85.7	86.8	74.2	80.6	76.9	-4.7%	-10.3%	
金融費用以外の費用	309.8	290.0	73.5	72.7	70.9	72.5	71.6	-1.2%	-2.5%	
税前利益	103.1	49.5	12.2	14.0	3.3	8.1	5.3	-35.2%	-56.9%	
国内投信販売金額 ¹	3,610.5	2,423.7	648.8	527.5	499.8	741.5	566.7	-23.6%	-12.7%	
公社債投信	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	
株式投信	3,198.6	2,130.8	583.6	451.7	426.4	618.8	493.5	-20.3%	-15.4%	
外国投信	411.9	292.9	65.2	75.8	73.4	122.7	73.2	-40.4%	12.2%	
その他										
年金保険契約累計額(期末)	3,094.5	3,260.7	3,178.2	3,225.1	3,260.7	3,308.7	3,356.7	1.4%	5.6%	
個人向け国債販売額 (約定ベース)	628.1	1,022.8	206.5	237.6	266.6	296.7	236.4	-20.3%	14.5%	
リテール外債販売額	1,249.9	848.9	211.0	193.1	210.1	222.0	195.4	-12.0%	-7.4%	

1. 旧ネット&コールを除く。尚、2018年3月期4Q以降は、旧ネット&コールを含む

営業部門関連データ(2)

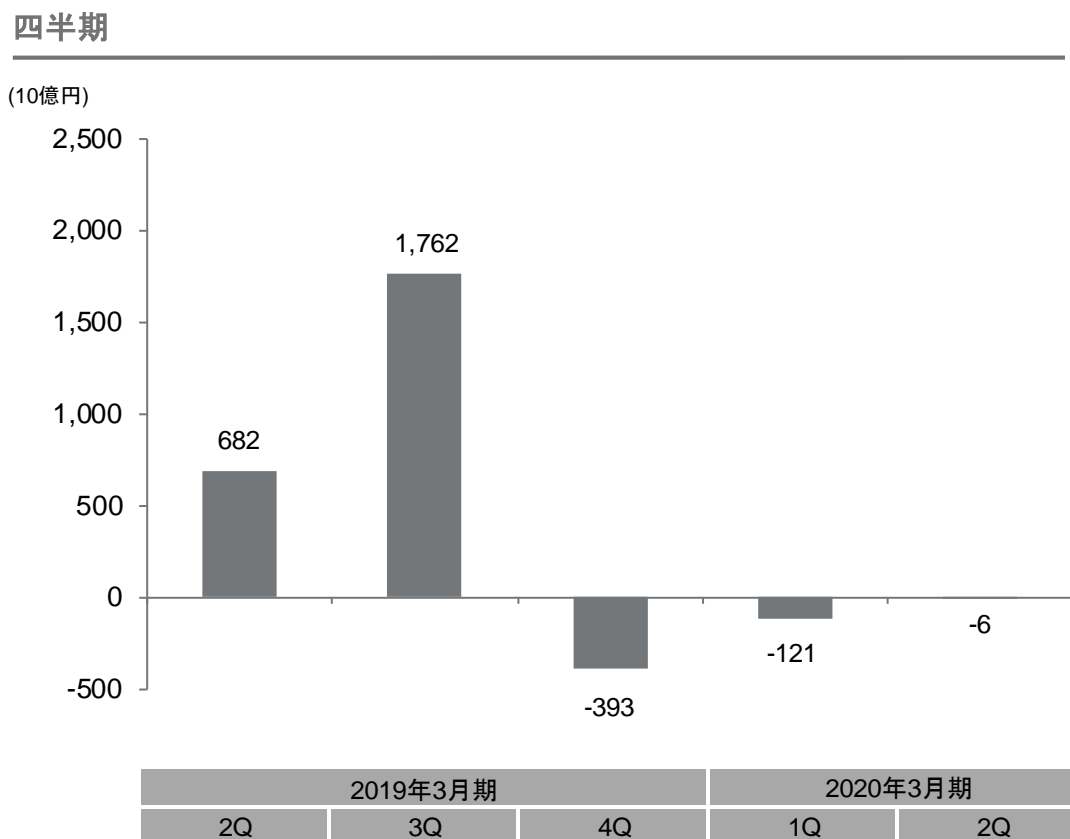
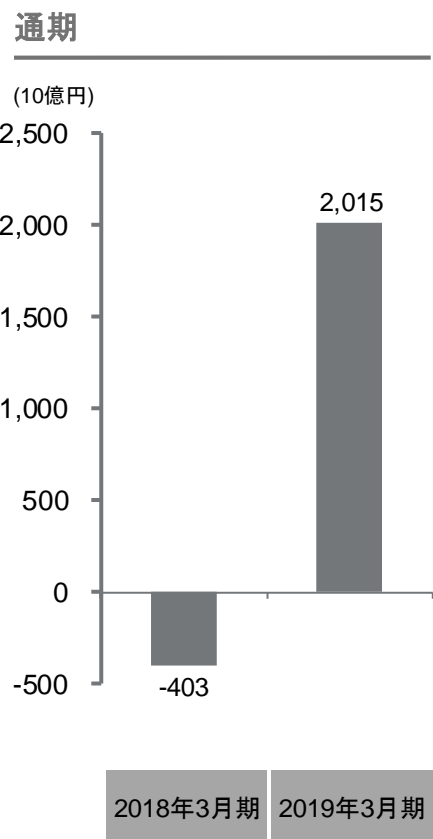
営業部門顧客資産残高¹



1. CB・ワラントを含む 2. 年金保険契約資産残高を含む

営業部門関連データ(3)

現金本券差引¹



1. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

営業部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期			2020年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
残あり顧客口座数	5,318	5,338	5,318	5,354	5,338	5,335	5,326
株式保有口座数	2,822	2,908	2,829	2,905	2,908	2,914	2,913
オンラインサービス口座数 ¹	4,387	4,569	4,470	4,526	4,569	4,601	4,632

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
個人新規開設口座数	231	257	65	73	60	49	48
IT比率 ²							
売買件数ベース	67%	78%	78%	77%	80%	79%	79%
売買金額ベース	43%	53%	54%	53%	53%	53%	53%

1. 2018年1月にネット&コール及びホームトレードを統合し、「オンラインサービス」として新たにサービス提供を開始

2. 現物株のうち、旧ホームトレードを通じて売買された割合。尚、2018年3月期4Q以降は、現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期 ¹		四半期 ¹					前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期			
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益(除:ACI関連損益)	105.3	102.9	26.1	24.5	26.0	25.8	25.0	-3.2%	-4.3%
ACI関連損益	22.1	-5.0	-1.5	-8.3	4.9	8.7	0.7	-92.3%	-
収益合計(金融費用控除後)	127.3	97.8	24.7	16.2	30.9	34.5	25.7	-25.6%	4.0%
金融費用以外の費用	61.2	63.7	15.8	15.6	16.5	16.4	15.6	-4.5%	-0.9%
税前利益	66.2	34.2	8.9	0.6	14.4	18.1	10.0	-44.6%	12.7%

運用資産残高 - 会社別

(兆円)	2018年	2019年	2019年3月期			2020年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
野村アセットマネジメント	52.4	53.4	55.1	50.2	53.4	53.4	54.1
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー	2.8	-	-	-	-	-	-
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	2.7	3.0	2.9	2.6	3.0	3.0	3.0
運用資産残高(グロス) ²	57.8	56.4	58.0	52.9	56.4	56.4	57.2
グループ会社間の重複資産	7.8	5.0	5.2	4.5	5.0	4.8	4.7
運用資産残高(ネット) ³	50.0	51.4	52.8	48.3	51.4	51.6	52.4

- この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金が含まれる。2019年3月期1Q以降は、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーを含まない。
- 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計。2018年6月末以降は、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーを含まない。
- 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 資金流入入－ビジネス別¹

(10億円)	通期		四半期				
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託ビジネス	3,131	2,187	280	1,141	503	672	259
うちETF	3,022	2,531	510	1,391	483	642	246
投資顧問ビジネス	203	20	156	-354	109	-164	121
資金流入入 合計	3,334	2,207	436	787	612	508	381

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(兆円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内公募株式投信残高							
マーケット	96.9	101.5	103.8	93.6	101.5	101.9	104.3
野村アセットマネジメントシェア	25%	26%	25%	26%	26%	26%	26%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	12.3	11.6	12.5	11.6	11.6	11.7	11.9
野村アセットマネジメントシェア	44%	45%	44%	45%	45%	44%	44%
ETF残高							
マーケット	32.5	37.4	37.4	33.6	37.4	38.2	39.9
野村アセットマネジメントシェア	46%	45%	45%	45%	45%	45%	45%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入入 2. 出所:投資信託協会

ホールセール部門関連データ

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
収益合計(金融費用控除後)	715.3	555.4	147.7	128.2	142.2	159.5	156.7	-1.7%	6.1%	
金融費用以外の費用	614.7	666.8	142.7	224.1	155.3	139.5	137.8	-1.2%	-3.5%	
税前利益(損失)	100.6	-111.4	4.9	-95.9	-13.0	20.0	18.9	-5.4%	3.8x	

ホールセール部門 収益の内訳¹

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年3月期			2020年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
フィクスト・インカム	341.6	232.8	69.6	37.5	68.0	82.5	77.2	-6.4%	11.0%	
エクイティ	261.6	220.2	54.2	65.9	45.6	53.3	55.6	4.4%	2.5%	
グローバル・マーケット	603.2	453.0	123.8	103.5	113.6	135.7	132.8	-2.2%	7.3%	
インベストメント・バンキング	112.1	102.3	23.9	24.7	28.6	23.7	23.9	0.6%	0.1%	
収益合計(金融費用控除後)	715.3	555.4	147.7	128.2	142.2	159.5	156.7	-1.7%	6.1%	

1. 2018年4月の組織再編に伴い、2017年3月期、2018年3月期のフィクスト・インカム、エクイティおよびインベストメント・バンキング収益を組み替えて表示
 2. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成され、米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す

	2018年	2019年	2019年3月期			2020年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
日本	15,819	15,852	16,296	16,138	15,852	16,423	16,119
欧州	3,057	2,909	3,020	2,963	2,909	2,775	2,734
米州	2,362	2,357	2,390	2,384	2,357	2,230	2,167
アジア・オセアニア ¹	6,810	6,746	6,843	6,796	6,746	6,684	6,610
合計	28,048	27,864	28,549	28,281	27,864	28,112	27,630

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2020年3月期第2四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/